

カンガルーシップ活動 共生プロジェクト 実施報告書

報告日	平成 27 年 3 月 12 日
主管学校名	京都教育大学附属幼稚園
P T A 会長名	大田 勝

実施概要	主管校	京都教育大学附属幼稚園
	交流校	京都教育大学附属特別支援学校
	実施活動名	親子音楽鑑賞会
	実施日時	平成 26 年 12 月 12 日
	実施場所	京都教育大学講堂
	実施目的	生の音楽を聴く貴重な機会を共有する
	実施内容	消防音楽隊の演奏と一緒に鑑賞する
	実施方法	附属幼稚園行事の音楽鑑賞会に特別支援学校の小学部児童を招待した
	参加人数	附属幼稚園 園児 (140 名) 保護者 (140 名) 教職員 (9 名) 特別支援学校 小学部児童 (16 名) 教職員 (8 名)

報告事項	内容	<ul style="list-style-type: none"> ・附属幼稚園の行事である親子音楽鑑賞会に、特別支援学校小学部児童と保護者、教諭を招待した。 ・音楽鑑賞の内容は、子どもに馴染みのある曲、消防音楽隊ならではのプログラム（音楽を通して防災に関する意識を高める内容を盛り込んだ参加型プログラム）、楽器紹介、クリスマスソング等で構成されていた。 <p>♪プログラム オープニング／トトロファンタジー／山の音楽家（楽器紹介）／『おおごとどけ！とおくまで』助けを呼ぶときに出す大声の練習／勇気 100%／『チャレンジぼうさいリズム』火事や地震の時、人を呼ぶ前に一番最初に自分の身を守る方法／『キャラクターショー』火遊び防止の呼びかけ／ジングル・ベル／あわてんぼうのサンタクロース／アンコール（アナと雪の女王）</p>
	結果	<ul style="list-style-type: none"> ・受付を済ませてからの着席、トイレは事前に済ませ演奏中は遠慮する等、いつもとは少し違う様子に子どもたちは緊張しながらも、特別な気持ちで何が始まるのか楽しみにしている様子がうかがえました。 ・附属幼稚園園児、特別支援学校児童、大人も心と体で音楽を感じ、その楽しさを体全体で表している子どもたちの姿が見られました。 ・消防音楽隊ならではのプログラム構成となっており、緊急時の大声の出し方を皆で練習しました。また、地震から自分の身を守る行動も練習しました。 ・キャラクターショーでは、火遊びの危険について子どもにわかりやすい内容となっていました。 ・アンコールでは、アナと雪の女王の演奏をして下さり、多くの子どもたちが一緒に歌ったり手で振付をして踊ったりする姿が見られました。 ・ロビーや会場で特別支援学校の方々と挨拶を交わす等交流できたり、音楽を共に楽しむ会場全体の雰囲気を感じたりすることにより「共に楽しむ」良い機会となりました。 ・特別支援学校の保護者からは、公の場所ではマナーの心配もあり本物の演奏を聴くチャンスがなかなか無いので今回は貴重な機会となり、大勢の附属学校園の仲間と同じ音楽を共有できてよかった、と喜びの意見を頂きました。
	所感	共に楽しめる場、自由に表現できる場、での交流を考えていく良い機会となりました。音楽を通して、自然な形でお互いにふれあいが持てる鑑賞会となりました。

添付書類	写真 6 枚
------	--------



カンガルーシップ活動 共生プロジェクト参加感想

提出日	平成27年3月12日		
学校名	京都教育大学附属幼稚園		
学年		氏名	

- ・がっきのしょうかいのしかたがおもしろかった。
- ・しているきょくがたくさんあってうれしかった。
- ・いっしょにうたってきもちよかった。
- ・おおきいがっきのおとがぞうのこえみたいにひくいおとでおもしろかった。
- ・かじのときのクイズをいっしょうけんめいやって、まちがえないようにがんばった。
- ・おおごえをだすれんしゅうがはじめはこえがでなかったけれど、ぶたいのおねえさんがおおきいこえで、それをきいてからじぶんもいっばいこえをだした。
- ・（特別支援学校の児童が）みんなきてうれしかった。
- ・（特別支援学校の児童が）うしろのせきにすわってうたをじょうずにうたっていた。いっしょにうたった。
- ・ぶたいからがっきをもってふきながら（演奏しながら）じぶんのすぐとなりきて、おとがおおきいのと、ちかいのとでびっくりしたけれどうれしかった。
- ・またみんなでいっしょにおんがくをきいたりうたったりしたいとおもった。

カンガルーシップ活動 共生プロジェクト参加感想

提出日	平成 27 年 3 月 12 日
学校名	京都教育大学附属幼稚園
氏名	

- ・生の音楽に触れる機会が持ててありがたかった。
- ・子どもが乗り出すようにして聴いていた。
- ・楽器紹介もわかりやすく、園児・児童たちの興味をひいていた。
- ・子どもの集中が途切れるかと心配したが、プログラムが聴くだけの内容ではなく、クイズ形式やできるだけ大きな声を出すプログラム、体を動かすプログラム等、子どもにとっても楽しめることが多くあり、最後まで集中して過ごせた。
- ・知っている曲の時には、自由に口ずさんだり体を動かしたり出来て、窮屈な雰囲気がなくとてもよかった。
- ・子どもにとっても貴重な機会だったが、大人も普段はゆっくり生の音楽を聴く機会が少ないので嬉しく感じ、リラックスできた。
- ・防災の知識を子どもに教えることは普段なかなか難しいが、大声の出し方の練習などはこれを機会に家庭でもまた練習してみたいと思う。
- ・最後に、舞台だけではなく、座席の通路まで下りてきて演奏してくださり、園児・児童たちは間近で奏でられるく楽器の音をきくことができて興奮していた。
- ・小さい子供を連れての生の音楽鑑賞は機会が少ないので嬉しかった。
- ・特別支援学校の保護者からは、公の場所ではマナーの心配もあり本物の演奏を聴くチャンスがなかなか無いので今回は貴重な機会となり、大勢の附属学校園の仲間と同じ音楽を共有できてよかった、と喜びの意見を頂いた。